津奈木

発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話(78)３１１１㈹
印刷所　旭印刷
電話(水俣)㊸4101番

「みんなが主役」平国小の運動会

スポーツの秋。グラウンド一杯に元気な子どもたちの声がこだまし、躍動感がみなぎる。みんなで楽しんだ運動会。

十月四日、小学校の運動会があり、平国小学校のグラウンドでも校区あげての運動会が賑やかに行われた。

運動会のテーマは「かがやいている　みんなが主役」で、分担に従って進行していく。

親と子、大人と子どものふれあう種目がいくつも組まれ、大変和やかな光景が随所に見られた。親子リレー、親子でクリーン作戦、玉入れ等の競技で親子が力を合わせて頑張る姿は微笑ましい。

全児童が学年別に色分けして名前をかいたゼッケンを着けていた。一人ひとりの子どもたちを見つめる思いの現われであろうか。

一言

津奈木町老人クラブ連合会では平成四年度から「ふれあいアンドヘルプ事業」を始めることになりました。この事業は元気な老人がひとり暮しや病弱な老人を支援する社会づくりをめざし、高齢者の社会参加、生きがいづくり活動の一層の推進を図ることを目的として行なうものであります。

本年度は二十三名の方がシルバーヘルパー（高齢支援者）となり、この事業に奉仕されることになりました。

ヘルパーの提供する主なサービスの内容は次のとおりで、必要に応じて提供することとなります。

一、家事援助……住居の掃除、炊事洗濯の手伝い、買物など
二、介護手伝……入浴の介助、外出介助、通院の付添など
三、話し相手……身上相談、助言
四、施設での奉仕活動
五、その他……役場等への書類の提出、病院への薬取りなど

ヘルプの対象は、おおむね六十才以上の一人暮し老人及び病弱な老人のいる家庭とし、四十乃至五十家庭を見込んでいます。

この事業では利用料など一切徴収しません。但し、援助、手伝いのため交通費を要するようなときなど、その実費程度を目安として受けることがあります。（丸田記）

平成４年 町民体育祭総合得点表

番号	種目＼地区名	竹中	染竹	浜崎	桜戸	町中	新川	古川	大泊	中尾	古中尾	倉谷	内野	上下門	川内	福浦	平国上	平国下	日当	日添	小津奈木
1	男子 ソフトボール	5	14	11	8	5	5	／	8	8	8	17	11	8	5	14	11	8	11	8	20
2	女子 ミニバレー	20	11	5	5	8	8	11	11	14	8	14	11	5	／	8	8	5	17	8	8
3	野球	（雨天中止）																			
4	競舟	16	24	16	／	12	16	19	30	16	24	19	29	21	21	24	27	28	27	19	27
5	陸上競技	8	15	11	13	2	4	／	14	10	5	9	7	12	3	18	6	19	17	20	16
総合得点		49	64	43	26	27	33	30	63	48	45	59	58	46	29	64	52	60	72	55	71
総合順位		11	3	15	20	19	16	17	5	12	14	7	8	13	18	3	10	6	1	9	2

スポーツの秋 町民体育祭
陸上競技大会

天高く、さわやかな秋を満喫、体育の日の十日、久々に雲一つない秋晴れの下で、町民体育祭の最後を飾る陸上競技大会が、総合グラウンドで、町民の健康づくりをめざし、町民総出によるさわやかな大会が繰り広げられました。

今年度は、競技種目も一部変更され、新しく「はやく入れてよリレー等の障害競技が行なわれ、はやく入れてよにおいては、なかなかのいろけを感じましたが、選手の方は大変だったのではないかと思いました。また、綱引き、年代別リレーと色々の種目で競技をしました。いずれも皆さん一生懸命で、応援も地元の選手が前を通ると、身をのりだしての声援、特に幼児リレーでは父母だけではなく、おじいちゃん、おばあちゃんまでも一緒に伴走されるなど、なごやかな一日でした。

わらってないで ワッショイ ワッショイ

敬老会で広がる心の交流
津奈木町婦人会

九月十三日、町改善センターに、午前九時を過ぎた頃から、次々とお年寄りの方々が集まり始めます。私達婦人会の年度行事の大きな一つが、この敬老会のお手伝いです。

朝九時には、各地区の支部長さんが、会場前の受付けに勢揃いしますが、お年寄りの到着と同時に、あちこちで交流の輪が広がります。お互いに近くに住みながら、日頃、案外顔を合わせないで過ごしてしまうことが多く、「アラー、婆ちゃん元気やったですかー」「アータもおんなはったなー」。こんなやりとりが聞かれて、お年寄り達のお顔も綻びます。和やかな雰囲気が流れて、こんな所も、婦人会のお手伝いのメリットではないかと思いますが。

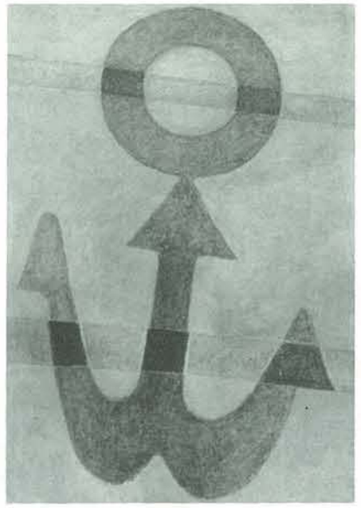
とどこおりなく式典が終わり、いよ〳〵アトラクションの時間です。各地区選り抜きの芸達者な方々や、そうでない方々(?)の楽しい舞台の始まりです。自慢の喉や、あでやかな舞姿、アイデアいっぱいのグループの踊りと、少しでもお年寄りの方々に楽しい時を過ごしていただきたいという演者の気持ちが伝わって、観客のお年寄りと舞台とが一つになって、ほのぼのとした空気が会場を包みます。

一時期、アトラクションにプロを招いた時もありましたが、やはり、お年寄りが求めておられるものは、お互いの暖かい心のふれ合いだと思います。そういう意味でこれからも、出来る限り頑張ってお手伝いしてゆきたいと思っています。

拍手喝采で大にぎわい

熊本県文化祭（民俗芸能）大会が１１月８日(日) 津奈木文化センターで開催されます（ご観覧下さい）

	地区	芸能名称	時間
1	上益城	上川井野の竜宮太鼓	13:30～13:50
2	阿蘇	阿蘇の牛舞い	13:50～14:00
3	鹿本	宗方万行	14:00～14:10
4	天草	阿村のがたきり踊り	14:10～14:20
5	八代	中島町獅子舞い	14:20～14:40
6	芦北	田浦町棒踊り	15:00～15:20
7	〃	招川内古代虚無僧踊り	15:20～15:40
8	〃	平生雷狂言	15:40～16:00
9	〃	宝川内志賀段七踊り	16:00～16:10
10	〃	平国六方踊り	16:10～16:30



油彩
「いかり」1967
境野一之 作

長い、長い漂泊の旅であった。
少年時代の樺太、妻とともに敗戦を迎えた満州、引き揚げ船。
それぞれの港に、〝自分〟という「いかり」を降ろす。
沈んでいた時間の分だけ、人生が残ってゆく。その一方で、「いかり」は、赤銅色に錆び、朽ち果て、滅びてゆく。

庁舎美術館(44)

「心の健康」

つわぶきセミナーでの講話

先般、つわぶきセミナーで八代市明泉寺の藤岡正英先生の講話を聞いた。

新聞の投書欄に九才の坊やが「親切なおじちゃん、ありがとう」と書いてあった。居眠りしてバスを乗り越し、ベソをかいていたら、親切な四十才位の男性が二千円手渡し、タクシーで家に送ってくれたというのである。

「せめてお礼の一言でも」と、その子と母親は翌日から十日間、親切を受けたバス停でその人を待ったが会えなかったため、「新聞でお礼を」ということにしたのだそうだ。男の人の親切もさることながら、その恩に報いようと親子でバス停に十日間も立ったその姿のなんとうるわしいことだろう。すばらしいお手本をこの母親はわが子に示されたと、私は新聞を読みながら、心打たれたと藤岡先生は話された。

熱心なセミナー会場

物の豊かな今の時代に欠けたもの、それは「感謝の心」、つまり「ありがとうの心」ではなかろうか。実はそれが、人間にとって最も大事なことである。と力説。

きれいに清掃されたところにはチリは捨てにくいが、最近ではおかまいなし。「慚愧」（佛教では・ざんぎと読む）の心がないものは人間と云わず、と教えられている。人間が人間の心を失いかけているようだと残念がっておられた。

黒船を見下す 薬草岳

嘉永六年（一八五三）ペリーが伊豆下田にやってきて、日本中が四隻の黒船に震え上がった。その前から天草灘には沖縄から長崎沖にかけて何回も姿を見せていたから細川藩に限らず「ロシア手当て」という海岸防備態勢がとられていた。しかし、ペリーの来航以来、尊皇攘夷の意識昂揚とからんで、武術・大砲操作法の訓練習熟が盛んになってきた。

薬草岳の頂上

津奈木の御家人たちは平国・赤崎・津奈木各地の防衛分担のため配置された。

この時、薬草岳に黒船見張所が設けられた。黒船を見付けたら、薬草岳で合図に大砲を撃つことがきめられた。次いで会所でも大砲を鳴らし、正行寺、光明寺の鐘を打ち鳴らすことがきめられた。薬草岳頂上には石垣で築かれた見張所跡と考えられる場所がある。（岡松記）

読書感想文

しいくがかりさんへ
（かわいそうなぞうを読んで）

赤崎小 2年　吉野 早奈美

しいくがかりさん、いろいろしんぱいして、とてもきつかったんでしょ。

そだてていたかわいいぞうたちを、えさをやらずにころさなくちゃいけなかったもんね。

もしかすると、くうしゅうがはじまる前に、くうしゅうやめろって言ったら、ジョンもトンキーもワンリーもたすかったと思うよ。

こわいせんそうだっておわったと思うよ。

わたしのおともだちは、だれでもせんそうなんかいやだって言うよ。

三とうのぞうみたいに、だいすきなごはんを食べさせてもらえずに、しんでしまうのはいやだって言うよ。

ライオンやトラやヒョウやクマやダイジャみたいに、どくをのまされてころされるのはいやだって言うよ。

しいくがかりさんだって、ほんとうはころしたくなかったんだもんね。

いま、ジョンとトンキーとワンリーはどこで何をやっているのかな。

おともだちとも話してみたけれど、三とうのぞうは、きっと天国にいると思うよ。

天国で、えさをおなかいっぱいに食べて、いろんなげいとうをやっているかもしれないね。

天国でもきっと人気ものだと思うよ。

天国にいる人たちも、きっと大よろこびだろうね。

そうして、ジョンもトンキーもワンリーも天国でちきゅうを見ながら、せんそうはないほうがいいって話していると思うよ。

わたしたちも、せんそうなんてやっちゃいけない。

みんなでなかよくやっていかなくちゃいけないね。

郷土の植物(6)

（文化財としての植物）

椎葉 昭二

植物関係の文化財には、久子のコミカン等六点が指定されている。

久子のコミカン（県指定、六車孝吉氏町長所有）は樹令三五〇年以上で基幹の周り〇・七一米、樹高五米、枝張が広く森をなしている。

六車家が八代から移り住んだ時これを苗として持参した。この苗の原木は樹齢六〇〇年以上で、八代市高田に在ったが、大正一一年の球磨川氾濫で消失した。それだけに久子のコミカンは日本でも貴重な存在となる。紀国屋文左衛門のあの紀州蜜柑は八代のコミカンだったという説もある。

ベニミカン（仮泊・山口勝郎氏所有）の果実は紅色に色づき芳香があり、甘味と酸味の微妙な調和で上品な感じがする。

マドラスの原産オオベニミカンが鹿児島県南部地方に以前から在り、これと同種だとすれば、いつ誰が此処に持ってきたかである。

ナギは中国、台湾から四国九州に分布し、山口県小郡が北限でこれに次ぐ物だが、樹高二〇米、幹周二・六五米と素晴らしい。

由緒ある久子のコミカン
（県指定天然記念物 昭53.2.2指定）

赤崎の将軍神社のヤマモモは高さ一〇米幹周三・五米の貫禄を示すかのように幹には瘤状に変じた多くの隆起があり、風雪に耐えた歴史を物語っている

諏訪宮のクスノキは、樹冠の拡がりが九〇〇平方米という堂々たる風格であり、巨木、老木の多い中で樹勢美が一際目立つ。

ソテツの野生は宮崎県南部が北限で、栽植された物は関東まである。日本一は静岡県新町の樹高八米（国）、県下では岱名町大野下の樹高四・五米（国）がある。役場前のソテツは樹高六・五米、樹高だけだと遜色はないが、分枝数と株張りに弱点がある。

「郷土の植物」もこれをもって終稿になりますが、郷土の植物環境は実に素晴らしいと感じます。ご協力ありがとうございました。

津奈木見たまま

喜多 幸夫

小学校の教師になって三十七年目を平国小学校長として過ごしています。初任以来八年間を天草で送り、オリンピックの年に故郷の菊池に帰り、今回の異動まで二十八年間は他郡市を知らない生活でした。

今年になって、公的な紙上に発表するとのことで原稿を書くのはこれで四回目です。最初は町公民館報に学校紹介を書きました。

次いで、私の所属する書道誌の表紙と巻頭言、三回目は、前任地の菊池郡市教頭会報に、現任校の印象等を書きました。これらに共通することが、津奈木見たままということになるでしょう。

その一、景趣幽絶という言葉です。その景色の美しいこと、何ものにも譬え難くすばらしいものであるという意味ですが、当地に縁の人、蘆花の「自然と人生」に書かれている相摸灘の落日を思わせる情景に接した時は息づまる感を覚えました。

その二、緑と彫刻のある町づくりのキャッチフレーズのとおり、素晴らしい自然を背景に芸術の香高く立てられた数多くの彫像。何とも心和む風景です。

その三、そこに住む人々の心豊かさ。親切さは、城北の地に見られない此の地の宝物と言えるでしょう。

反面、考えさせられることも少くはないようです。経済の発展に直結し、若人をして血湧き肉踊らせる産業に乏しいこと。こと学校教育に絞ってみても、過疎故の刺戟のなさが齎す学力の低下、学習意識の低調。さらには、大人達の閉鎖性、事なかれ主義も見え隠れするようです。

先日、校区の人々と盃を交わす機会がありました。その中の言葉に「こんな田舎に働く者にとっても世界の情勢には常に気を配っていなくては世の中の動きにとり残されるんですよ」全く、その通りです。お山の大将ではなく、熊本県、否、日本の興亡の一翼を担う気概なくして、今を生きることは不可能なのです。

不易と流行ということがあります。変わらないこと、変えなければならないこと。何も特別なことではないのですが、私は論語の学而篇冒頭の語句を噛みしめたいと思います。

「子曰く、学んで時に之を習ふ。またよろこばしからずや。」

言葉の意味は、またの機会に。

短歌

宮崎 優 選

背のびしてオクラ採りゆく双眸に
今し出でたる日輪まぶし
　寺本ツルヲ

やや広き歩幅とおもふ雨の日の畑
よりつづく吾の足跡
　寺本ツルヲ

病室の窓より見ゆる海風ぎて釣り
人ひとり岩陰にあり
　野田浦子

朝露をふみて夏草刈り急ぐエンジ
ンの音狭にひびけり
　野田浦子

ひと夜降りてしめりし柿の太幹に
稚き蟹のひとつ這いいる
　野田浦子

新しき家建つ前を通るたびかかわ
りなくも見るがたのしき
　西滋子

夕顔の開く刹那にみせられて暮れ
ゆく庭にその時を待つ
　西滋子

むずかりし幼はタオル抱きつつ何
時しか眠りぬ何に夢むらん
　白浜美和子

棚畑なる芋作荒さる猪害になす術
もなく呆然と立つ
　白浜美和子

若き日の俤もなく口きけず見舞い
し人も涙ぐみいる
　柳迫いづも

百日草花に舞い来しあげは蝶羽根
はばたきて蜜をすいいる
　白鳥の如く群れ咲く白百合の花は
残暑の微風に揺る
　福田八重子

梅雨あけて大空晴れて山山の青葉
若葉のいたく目に沁む
　福田八重子

癒ゆるなき老病も吾の友として一
病息災百寿目指さむ
　鳥井保

人間の足跡ありとは思えざり明月
仰ぎ縁に座し居る
　鳥井保

果てしなく広がる宇宙限りなきミ
クロの世界何んぞ人とは
　宮崎優

「一口メモ」短歌の歴史は古く日本文化の占率は高かった。現代に於ても短歌を学ぶ人は多い。しかし作者は高齢者が殆んどで、若い人達の参加を切望致します。

肥後狂句

編集部整理

手づくりで、厚か丈夫か良か茶碗
手づくりで、湯呑みばいつも撫で
とらす

待ちなっせ、もうすぐ嬶が帰るけん
待ちなっせ、やがて団子のできる
けん
　雲波

手づくりで、昔のセータの若こなった
手づくりで、見かけはようなか味
はよか
待ちなっせ、腹ん減ったよ何ちゃよか
　薇

手づくりで、田舎料理の味のよさ
手づくりで、おばあちゃんこれ着
てはいよ

待ちなっせ、くじ当ててから戻すけん
待ちなっせ、もちっと安うなってから
　万葉

〔次笠〕年賀状、夢ごこち
一笠二句づつ、十二月十日まで
役場内教育委員会社会教育係へ